

公開用資料

研究課題：低悪性度 B 細胞性リンパ腫の臨床病理学的な検討および予後に関する多施設共同後方視的研究

研究の趣旨：低悪性度 B 細胞性リンパ腫は比較的予後の良い疾患群で、研究が進んできていますが、未だ解明されていない部分も多いです。特に Nodal marginal zone B-cell lymphoma of splenic type は稀な疾患で、予後と病理形態学的な関連についての検討は現在までほとんどなされていません。臨床病理学的検討を行うことは今後の診断や治療方針を構築する上で助けとなりうるため、研究を行います。

研究の目的：低悪性度 B 細胞性リンパ腫、特に Nodal marginal zone B-cell lymphoma of splenic type について WHO 分類第 4 版に基づいて分類し、多施設との共同研究により臨床病理学的な特徴を明らかにします。

研究の方法：昭和 55 年 1 月 1 日から平成 26 年 5 月 31 日までに臨床病理学的に低悪性度 B 細胞性リンパ腫と診断された患者さんの病理組織所見及び血液検査結果や画像所見などの臨床情報を元に、多施設共同の後方視的研究として行います。県内外の他施設に症例の提供を依頼し、匿名化を行った上で当院に集約、解析します。診断時に得られた生検検体もしくは切除検体を用いて免疫組織化学的な評価を行うと同時に、FISH、PCR、形態像などの病理組織学的所見を再評価します。さらに臨床所見と病理組織学的所見との関連を検討します。治療を行った症例に関しては、治療方法とその反応性を調査します。予後については、生死、再発・増悪の有無についての調査を行います。

本研究は通常の診療録の一部として保管・保存されている資料・試料のみを取り扱うため、特別な身体上の危険は生じません。そのため、補償等の措置は用意していません。患者さんの個人情報の漏洩がないよう最大限の配慮を致します。患者さんから本研究への参加を拒否する意志の表示があれば、その患者さんに関するすべてのデータを本研究から除外することを保障します。

研究機関：名古屋大学大学院医学系研究科臓器病態診断学講座

連絡先：名古屋大学大学院医学系研究科臓器病態診断学講座 中村栄男
(電話 052-744-2582、ファックス 052-744-2651)

研究内容やそれに伴う疑問や不安に関しては、主治医、遺伝担当医等にご相談ください。

苦情受付先：総務課 電話 052-744-1901